

# 斉木聖氏が「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を受賞！



表彰状を手にする斉木さん(左)と蒲原県土整備部長(右)

砂防ボランティア全国連絡協議会は、砂防ボランティア活動及び砂防ボランティア団体の運営発展に関して顕著な功労があり、他の模範として推奨に値すると認められる個人を平成25年度から表彰しています。この度令和4年度表彰者として、鳥取県からは斉木聖氏が受賞され、3年ぶりに開催された「第23回砂防ボランティア全国のつどい」にて表彰されました。残念ながら、斉木氏のご都合により当日は欠席されましたので、後日、蒲原県土整備部長より斉木氏へ表彰状が伝達されました。

## 斉木聖氏 主な功績

- ・平成19年「鳥取県砂防ボランティア協会」入会
- ・平成19年から25年までの7年間、支部幹事を務める
- ・平成26年から30年までの5年間、副会長を務める
- ・平成28年に発生した鳥取県中部地震では、県との協力体制を迅速に図り、住民へ二次災害防止への注意喚起を行う。
- ・豊富な砂防業務経験を活かし、長年にわたり協会活動を通じて協会の発展に献身的に尽力された。

**全国のつどいに参加しました**

土砂災害防止に関する知識の普及啓発や技術力向上等を目的として毎年開催されており、当協会からも2名が参加しました。

和歌山県での平成23年紀伊半島大水害からの復興と土砂災害防止に関する取り組みについて学び、美しい国土づくりを支える「砂防」の役割と大切さについてあらためて身に染み込ませました。

この経験を今後の活動に活かし、鳥取県のさらなる防災力向上のため努めていきたいと思っております。



播磨会長(右から2番目)と桑村西部幹事(右から3番目)



6月29日(水)

2022年(令和4年)

## 出前裏山診断



住民とともに裏山の踏査・点検



質疑応答・有識者からのアドバイス等を座談会形式により実施

令和3年6月に岩美町にて行われた出前裏山診断に、学識経験者・行政機関と共に、ボランティア2名の方に参加していただきました。地域住民と一緒に現地の踏査・点検を行い、その後公民館で地形の特徴・注意すべき点について地区にお伝えし、防災に対する意識向上に努めました。

## 編集後記・・・

コロナウイルスの影響により堤防点検など各種活動への参加が中止となってしまいましたが、そのような中でも精力的にご活動いただきありがとうございます。  
近年の気候変動で、毎年のように全国で災害が発生しており、県内でも過言ではありません。会員の皆様には県職員OBという長所を活かしていただき、現役職員と一体的にこの鳥取県をどうするか、ぜひ未来へ向かって一緒に考えていただけたらと思いますので、今後とも協会へのご協力よろしくお願いいたします。

## 設立から10周年の節目を迎えます

平成24年に土木防災ボランティアと砂防ボランティアを一本化し、「鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会」が新たに設立されてから、今年6月で設立10年目の節目を迎えました。

当時会員数78人で発足したこの会も、現在会員数115名となっております。

会員のみなさまの豊富な経験と技術を活かし、鳥取県の安全・安心のためにお力添えいただきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。



緊急点検の様子



令和3年7月の豪雨で発生した土砂災害を受け、同様の危険性が懸念される箇所について県内で緊急点検が行われました。

そのうち東部・中部で行った点検に県市町職員とともにボランティア会員12名の方に参加していただきました。

点検には地元関係者も参加いただき、留意事項の説明のほか、避難情報の入手方法などについてパンフレットを提供するなど、早期避難に向けた意識啓発を行いました。

## 急傾斜地緊急点検

## ★★「斜面判定士」に登録しませんか？★★

土砂災害の危険箇所を日常または災害時に巡視・点検をするためには、一定の土砂災害に関する知識と経験を有することが重要です。概ね砂防関係5年以上の経験者で、十分な技術力を有すると判断される方々を斜面判定士として認定・登録するものであり、現在、斜面判定士は鳥取県で36名が登録されています。

(お問合せ先) 鳥取県治山砂防課 電話 0857-26-7819